

市民との意見交換会・報告書（大戸地区）

開催地区：大戸地区	開催日時：令和4年5月11日（水）	18時30分 ～ 19時32分
担当班：第5班（出席議員）古川雄一、後藤守江、村澤 智、大山享子、松崎 新		
開催場所：大戸公民館		
参加人数：男性 13名、女性 0名、合計 13名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）		
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など		
1. 意見交換の総括		
(1) 議会報告、市政全般についての総括		
地区別テーマとして「まちづくり」を取り上げ、意見交換を行った。鳥獣被害拡大防止についての説明と質疑を通し、電気柵設置に関する意見交換を行った。市の施策等への意見について見直しなどの視点をいただく機会となった。		
令和5年度から大戸小学校の小規模特認校へと移行については、大戸地区まちづくり協議会で検討されまちづくりと一体となった検討の必要性とその手法について意見交換をすることができ、そこでの意見は、魅力ある学校づくりと大戸独自の産業の工夫についての意見をいただいた。また、空き家の活用についての意見が出され、空き家の活用についての意見をいただいた。さらに、地域の魅力づくりや教育の重要性も意見の中にあり、まちづくりにとっては教食住の点での必要性について、地区市民の方々との意見交換となった。		

○ 議会報告、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済
 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
鳥獣対策電気柵補助金についてですが、市の補助は最大50万円です。芦ノ牧は80万円かかった。福島県の補助はかかった費用全額が交付される。補助は最大50万であるが、もっと出せないか。	議会の産業経済委員会では、鳥獣対策事業について質疑をしている。そこでは住民の要望に沿う補助の在り方を求めている。予算的には少ないと思っている。また、駆除隊の訓練の整備、被害対策についても求めている。補助金の考え方は、担当課は最大限出してもらいたいと考えているが、市の財政を支えている財務部は、市全体の事業のことを見ているので住民が要望する補助額は出せないと考える。歩み寄った形で現在の補助額があるのではと考えます。	○	①		鳥獣被害
鳥獣対策電気柵は、6月に設置、支払いは6月に済ませ申請した。補助交付は3月であった。	事業が整い、請求する。その後交付することになるが。聞いていて6月申請、3月交付というのは考えられない。調べてその原因を報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P11に記載)	鳥獣被害

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	「大戸町のまちづくり協議会活動について」説明をしてください。			
<p>2年前の区長会が中心になってまちづくり協議会を設置し毎月第一木曜日協議会を開催している。大戸地区の少子高齢化に対応すべく活動し2年が経過している。最近分かってきたのは、高齢化は恐ろしくない。買い物については、移動販売車や相乗り制度の工夫で乗り切ることが出来る。目が弱くなった方には、読む広報紙から聞く広報紙への変更でカバーできる。健康で寿命が延びることは良いことだと考えるようになった。一方、少子化については簡単でない、学校は完全複式になろうとしている。子ども達が教育上の不便を感じるだけでなく、教職員の数が半分になることで、先生方の負担が増えることになる。そこで小規模特任制度を導入したいと考えている。会津鉄道を利用して西若松駅から約15分で来る事が出来る。魅力ある学校をつくらないといけないと考えている。まちづくり協議会では、学校への支援を考えている。産業部会では、大戸独自の産業の工夫を検討している。教育部会は、中学校の桜の保存について協議している。特に少子化の課題が大きいのかかっている。</p>	<p>小規模特任校は、来年4月に発足する予定です。学校運営協議会で話し合いをしてきている。本日は、特色ある学校について話し合っていきたい。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>保育所が無くなった。幼児教育の育成を充実させなくてはならないと考えるところから子ども園などの開設に向けて取り組みたいと考えている。大戸地区には、空き家があり、その改修費用、空き家活用の補助について考えてほしい。公営住宅を建設するより費用がかからない。</p>	<p>以前、大戸地区の意見交換会でも話し合ってきた。大戸地区の地図に子どもさんの数を記入し、集落ごとの児童・生徒の数が少なくなっていることを参加者が知ることが出来た。参加者の中に若い夫婦の方が話されたことは、大戸町に住むことになり大戸の良さを実感していること。若い世帯が2世帯、3世帯住むことによって大戸が変わるのではないかということだ。意見交換会で話したのは、若い人が住むことのできる環境を整える必要があること。保育所が無くなり、子育て支援の充実をどのように考えるのか。他から移って住む家がない、公営住宅、アパートの問題が挙げられた。議会はこれを受け、公営住宅をつくれぬのか協議してきた。また、若い方が大戸地区に住み子どもを育てること、小規模特任校制度により児童・生徒を増やすことを一緒にやらないといけないうと思う。考え方を教えていただきたい。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>大戸地区としての拠点、住宅、保育所、人の集まる拠点が必要である。そのうえで教育、農業、福祉など話し合いが広がる。区長会として道の駅を建設し拠点とする考え方がある。現在、縦貫南道路の建設が進められているが、118号線と交わる箇所につくることを提案したいと考える。道の駅を拠点として若者が働く場、大戸地区の産業や農業生産物をPRする場が出来る。縦貫南道路の早期建設と交流拠点としての道の駅建設を願っている。</p>	<p>空き家の活用について、大戸地区は実績がある。また、補助の在り方についてこれから検討し、更なる可能性について協議できると思います。空き家については、空き家対策協議会がつけられ様々な検討がされている。そして、空き家のランク付け、持ち主との協議を進めている。</p>	○	②	
<p>道の駅の計画が出来れば、私たちも活動できる。私たちだけでは道の駅の計画も立てられないので、議会の支援を要請している</p>	<p>道の駅については会津若松市に無い。福島県内でも道の駅が拠点になっている自治体がある。道の駅については、議会で取り上げてきた経過にある。夢のある話だと聞いていた。道の駅建設は、行政に要望するだけでなく地元の熱意を伝えることも重要だ。大戸のまちづくり協議会の中でまちの活性化、若者の雇用の場、大戸地区の新たな産業、農業の活性化との関係で道の駅を要望することを考えてはどうか。土地の問題もある。広大な面積の土地が必要だ。大戸まちづくり協議会の中で将来の夢を話し合い、具体化してはどうか。また、拠点として考えられるのは公民館もある。現在、児童・生徒は、放課後公民館に集まり活動している。ぜひ拠点の一つとして考えていただきたい。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>大戸町全体の魅力がなければ若者が戻ってこない。今年、公民館では、ふるさとの写真展を開催する予定です。大戸地区には14集落ある。自分たちの良いところを発見、発信していきたいと考えている。地域の見直し、集落の良さを見ることを共有したい。若い方の出会いの場として公民館活動が必要と思っている。また、ラーメン店が全国区です。そして、会津鉄道の芦ノ牧駅の良さを発信したい。そのためにイベントも考えている。まちづくり協議会の良さをアピールしたい。</p>	<p>道の駅は、国土交通省の認可がないと道の駅の設置が出来ない。</p>	○	②	
<p>芦ノ牧本村にパークゴルフ場が出来て、地区外から毎日10名前後が来て活動しているが地元の人には利用していない。その理由は、高齢化で、自家用車を運転していない、バスの便数が減ってきている。現地まで行けないので利用しづらい。冬はスノーパークとして利用されているようだ。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>まちづくり協議会で産業部会会長している。これまで竹林に手を入れなくなり荒れてきている、そのため、里との区別がつかなくなり鳥獣被害が増えてきた。そこで竹を利用して鳥獣対策と竹の商品化を行ってきている。灯籠、竹炭をつくっている。竹炭づくりでは、大戸中学校の生徒が参加している。これからは、キーホルダーづくりと販売を考えている。ハックルベリーを2年前から生産、昨年から販売した。販売は、芦ノ牧温泉駅、小谷の無人販売所に委託している。今年は、染め物づくりを行い、きれいな色に染められた。今後は、大戸町の活性化事業に取り組みたいと考えている。</p>	<p>すごく良い取り組みを聞いた。最近の取り組みとして若い方々がSNSを使ったインターネットでの販売を取組んでいる。今年度から地域おこし協力隊の方が常駐するので、まちづくり協議会と生産者、地域おこし協力隊員で取り組んでいただきたい。</p>	○	②	
<p>商品開発についてまちづくり協議会の役員が中心になって行っている。これからは、協力者を増やしていきたい。また、女性部会を発足させて、ハックルベリーづくりと販売について協議している。</p>	<p>主婦目線でいえば、食べ物、染め物、大変魅力的商品であると思う。例えば、湊地区で行っている販売方法は、市場を定期的開催し、出かけていけば新鮮なものが手に入る。そのことが口コミで広がり、私も行ってみようとなる。大戸地区では、どの様な商品がどこに行けば購入できるのか。また、場所がわからないと買いに行けないので、ぜひ魅力ある商品についてのPRを進めていただきたい。私たち議会も応援する。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	販売会はどのように開催していたか。			
春、夏、秋と販売を考えていたが2回だけの開催であった。マルシェは安定供給が課題です。多品種、生産量がないと販売会の回数が増やせない、インターネット販売が出来ないところです。		○	②	
	会津若松市はデジタル化の中で農業生産と消費についてA Iを導入し生産時期、生産量、消費者が求めているものを数値化する取り組みを行う。大戸地区の活性化の動きにつかえるのでは。	○	①	
マルシェの販売実績として、首都圏から来て米を購入しリピーターになった方がいる。	大戸地区の米が大変良いとのことで、年間で購入している施設がある。	○	②	
	芦ノ牧温泉との関係だが、大戸地区の米を安定的に購入してもらえればよいのだが。	○	①	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>私は、大戸地区まちづくり協議会に2年半関わってきている。これまで学校の先生、保護者、地域の方々と協議してきた。その中で、少子高齢化で小中学校の教育のクオリティが下がると保護者は、力がわかない。大戸はダメなのか、大戸から出ていくかとなる。そうした中、大戸地区で小規模特任制度を導入すべきか協議することで、学校の先生の変化を感じる。それは、まちづくり協議会活動を通し保護者、地域の方が学校を良くするために活動していることが、教職員の変化につながった。教職員は、大戸の学校運営を何とか良くしていこうといった気持ちが伝わった。私たち保護者は、モチベーションが上がっている。議会でも、私たちが後押しして大戸地区の教育をより良いものになるよう応援してほしい。お願いしたいことに学校の教職員の確保がある。国の法律、条例で決まっていることだが柔軟に考えてほしい。教職員の配置を多くする議会の支援に期待している。そして、教育を通し大戸地区がより良くなることを私は期待している。</p>	<p>市で先生を確保することは可能だと考える。応援します。魅力ある大戸は、年代で変わってくる。また、子どもの世代でも変わる。ぜひ丁寧な話し合いの中で魅力ある大戸のまちづくりを進めて下さい。他地区から通学する児童・生徒について議会視察の事例です。ひたち太田市の取組では、小規模校に中心市街地から公共交通で通学している事例を説明されました。学校に集落外の子どもがくることで、よい意味で学校、児童、生徒、保護者が変わった。と説明を受けた。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 大戸地区のまちづくりについて

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
150年前から続く祭りのことだが、南原、香塩、大豆田地区の祭りがある。山車を子どもが引き、笛や太鼓を奏でる。祭りの伝統芸能について小学校で笛、太鼓を教えている。3地区の子どもが少なくなり小学校とも協議して大戸地区全体の祭りにしたいと進めている。		○	②	

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 電気柵の補助交付について (P 2)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 鳥獣対策電気柵は、令和2年6月に設置、支払いは6月に済ませ申請した。補助交付は令和3年3月であった。</p> <p>【事後処理結果】 事実を確認したところ、地区の電気柵設置作業は、6月20日に完了した。その後、電気柵購入補助金交付申請、同補助金の交付決定、同補助金の交付請求、同補助金交付が行われ、11月25日に口座に振り込まれたことを確認した。</p> <p>問題点としては、補助金交付申請から補助金が振り込まれるまでの期間がかかったこと。 令和2年度他地区でも同様なケースがあったこと。 以上のことが、農政部への調査で判明した。所管の部長及び課長に対し、しっかりと事情を説明し、ご理解いただく必要があることを伝えた。</p> <p>なお、現在は、提出書類の簡素化や、地区ごとに申請がある都度に事務処理をしており、早期に補助金の交付が完了できる流れになっている。</p>	